

令和 8 年度 港区関連予算（案）概要

【1 区長（区CM）が関与する予算額】

(単位：千円)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度（案）
港区役所予算	1,504,815	3,064,776	3,385,828	860,226	1,262,988	885,021
うち区長自由経費	913,073	2,497,177	2,852,395	450,821	842,152	461,808
うち区CM自由経費	591,742	567,599	533,433	409,405	420,836	423,213

※ 人件費除く

区長自由経費は、区庁舎設備維持費や防災対策事業など、区へ財源配分され区が実施する事業の経費です。

区CM（シティ・マネージャー）自由経費は、スポーツ施設指定管理運営費や公園管理運営費など、区で調整を行いますが、局へ財源配分され局が実施する事業の経費です。

区長自由経費における 7・8 年度の差額の主な理由は、7 年度に港区土地区画整理記念事業完了に伴い区政推進基金へ積立を行ったためです。（積立金額：352,573 千円）

それぞれの事業別予算については、別紙をご参照ください。

【2 重点的に取り組む事業】

○不登校生徒支援事業〈令和8年度予算額：5,914千円、令和7年度予算額：5,316千円〉

【概要】 不登校による学力低下・進学・就職等への影響は将来の貧困につながりかねないことから、不登校からの回復に向けた支援を行い、貧困の連鎖や新たな貧困を生むことを抑制する。

【工夫点】 区内中学校を対象に、不登校からの回復や抑制に向け、ボランティアサポーターが対応可能な範囲において登校支援や学習支援を行うとともに、校内での居場所開設に協力する。また安定的なサポーター確保のためボランティア養成講座を実施する。

○児童虐待未然防止・早期発見強化学業 〈令和8年度予算額：8,365千円、令和7年度予算額：7,339千円〉

【概要】 ハイリスク妊婦や発達に課題のある子ども・課題を抱える親に対する心理・育児相談を心理士等が実施する。児童虐待の早期発見や対応を目的に、保育所訪問や保育施設への助言指導を行う。

【工夫点】 保育施設への巡回等により連携を強化するとともに、課題を抱える親等を対象に、心理士や保健師など専門職による育児相談・教室を開催し、適切な支援につなげる。

○産業振興・公民連携事業 〈令和8年度予算額：3,845千円、令和7年度予算額：1,914千円〉

【概要】 企業と商工団体・行政などの連携強化を図ることで、各主体の強みを活かした新たなビジネス機会の創出を支援し、産業振興の推進をめざす。

【工夫点】 区内の観光スポット、グルメ、特産品など既存の地域資源を活用して地域の活性化と魅力発信を図る。また、港区が大阪のニシの玄関口として発展するための構想等を描いた中長期的な区政運営の計画となる令和9年度以降の将来ビジョンの策定に向けた調査・検討を行う。

○学校跡地を活用したまちの活性化事業 〈令和8年度予算額：10,110千円、令和7年度予算額：20,570千円〉

【概要】 学校再編によって生じる学校跡地において、防災拠点機能を継続するとともに、まちの活性化を図るため、学校跡地の活用に向けた調査などの取組を進める。

【工夫点】 住民ニーズである「地域防災拠点等の機能継続」、「児童数の回復につながるような魅力ある機能の誘致」について、学校跡地及び既存建物を活用することで、まちの活性化に取り組む。

○港区エリア別活性化プラン等の推進 〈令和8年度予算額：2,198千円、令和7年度予算額：17,296千円〉

【概要】 令和7年3月に更新を行った「港区エリア別活性化プラン」に基づき、港区の各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりを推進していく。

【工夫点】 市岡商業高校跡地の活用、八幡屋公園の活性化に向けた新たな指定管理者との連携、築港・天保山エリアの活性化に向けた関係部局との連携等により、まちづくりの方向性等を検討・再構築する。